

# 水戸市中心市街地活性化協議会

## 臨時総会出席者名簿

【日時】平成21年2月26日(木) 午後1時30分～午後2時30分

【会場】水戸商工会議所 第2会議室

(順不同・敬称略)

事業所名・団体	委員名	出欠
水戸商工会議所	会 頭 加 藤 啓 進	出席
NPO法人茨城の暮らしと景観を考える会	代表理事 三 上 靖 彦	出席
社団法人 水戸市商店会連合会	会 長 蔭 山 二 郎	出席
株式会社 水戸京成百貨店	代表取締役会長 大 圃 哲 生	委任状
社団法人 茨城県バス協会	会 長 須 田 哲 雄	委任状
株式会社 常陽銀行	常務取締役 保 立 武 憲	出席
学校法人 リリー文化学園	理 事 長 大久保 博 之	出席
株式会社 茨城新聞社	代表取締役社長 小田部 卓	出席
大工町一丁目地区市街地再開発組合	理 事 長 西 野 一 郎	出席
国立大学法人 茨城大学	人文学部教授 齋 藤 典 生	出席
水戸市	産業経済部長 比 佐 敬	委任状

### オブザーバー

国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 所 長 梅 田 和 男

” 建設専門官 高 橋 幸 也

茨城県商工労働部中小企業課 係 長 戸 塚

水戸警察 署 長 山 本 昭 造

” 交 通 官 綿 引 忠 男

# 水戸市中心市街地活性化協議会臨時總會議事録

- 【件名】 水戸市中心市街地活性化協議会臨時總會  
【日時】 平成21年2月26日(木)13:35~14:30  
【場所】 水戸商工会議所 第2会議室  
【出席者】 会 員 11名 (内委任状出席者3名)  
オブザーバー 5名 傍聴者 1名 事務局 3名  
【議事録作成】 事務局(水戸商工会議所振興部商工振興課)  
【議題】  
・第1号議案 「水戸市新中心市街地活性化基本計画(案)」に対する水戸市中心市街地活性化協議会の意見書(案)について  
・第2号議案 水戸市中心市街地活性化協議会の組織と役割(案)について

## 【議事等概要】

1. 開 会 事務局が出席者を確認。規約に定める定数を満たしているため臨時總會の成立を報告。開会を宣言した。
2. あいさつ 協議会会長の加藤啓進水戸商工会議所会頭が挨拶。  
加藤浩一水戸市長から「水戸市新中心市街地活性化基本計画(案)」に対する水戸市中心市街地活性化協議会の意見集約の要請があり、これを受け協議会としての意見を取りまとめるための臨時總會を開催するに至った経緯説明等を含め加藤会長から挨拶があった。

規約に従い会長が議長に就任、議事を進行した。

## 3. 議 案

- 【第1号議案】「水戸市中心市街地活性化基本計画(案)」に対する水戸市中心市街地活性化協議会の意見書(案)について

議長は2月17日に開催された運営委員会において取りまとめられた「水戸市中心市街地活性化基本計画(案)(以下、基本計画案と略)」に対する意見書(案)について齋藤典生運営委員長に説明を求めた。

齋藤運営委員長は、運営委員会にて取りまとめた意見書(案)の内容について意見書(案)をもとに紹介。「基本計画案全般に対する基本に係る総合的な意見」「事実認定に係り強く要望したい(追加記載が必要な)事項」「検討願いたい要望事項」「市と協議会との関係に対する要望事項」の4つを柱とした意見書(案)について説明した。

齋藤運営委員長の説明を受け、議長は各委員に意見・質問を求めた。

### 意見・質疑等の内容

- ・交流人口拡大等による活性化ではなく、郊外へ流失した医療施設、介護施設、学校など人が住む施設整備等による中心街への人の呼び戻しが必要。中・長期的なまちづくりを考えるべき。
- ・文化が重層する街が中心市街地であり、中心市街地の衰退は重層性が失われことによるもので、それを回復させるには商業を中心とした活性化ではなく総合政策で進める必要がある。協議会としては、総合政策として市に提案していかねばならない。

- ・郊外の大型店について、商店会、会議所等の地域・団体への加入の縛りを設けるべき。
- ・まちづくりに関連する団体の実態把握が困難でつながりを持つことが難しい。

議長は、委員からの意見で【第2号議案】に関連する内容が見られるため、本件について大枠での承認の決をとり、【第2号議案】と関連付けてさらに協議することを委員に諮ったところ異議なく了承・承認された。

議長は【第2号議案】水戸市中心市街地活性化協議会の組織と役割（案）について齋藤運営委員長に説明を求めた。

齋藤運営委員長は、市は基本計画について国の認定を求めないというスタンスが明確にされたことを受け、運営委員会においてあらためて協議会としての基本的な方針を確認、また、今後、運営委員会を進める上での、運営委員会の役割、運営委員会内に正副運営委員長・正副専門部会長・共同設置者等による「調整会議」を設置し部会間の連携調整・さまざまなまちづくり団体との連携・情報の収集・一元化を図ること、専門部会の役割と構成について説明した。

齋藤運営委員長の説明を受け、議長は各委員に意見・質問を求めた。

#### 意見・質疑等の内容

- ・様々な団体・組織とつながっていくことが重要。
- ・文化重層都市というのは難しくわかりづらい。また、文化に対する考えや思いは人さまざま。これからは『エコ・環境』をまちづくりに活かす必要がある。
- ・今後、専門部会で事業を検討するがその中で、この席上で出された意見を吸い上げて事業プランを検討していきたい。

質疑等終了後、議長は、【議案第1号】・【議案第2号】あわせて今回の意見書（案）について諮ったところ異議無く、意見書（案）は原案通り承認された。

承認を得たことにより、協議会では、本意見書を3月2日付けで加藤浩一水戸市長あてに提出することとした。

以上で議案審議は終了。会長は事務局に今後の協議会の予定について確認。事務局から5月に事業計画等を協議いただく定時総会を開催する予定であることを説明した。

その後、会長は出席のオブザーバーに意見・情報等を求めた。

- ・市は、まちづくり3法を踏まえて活性化を進めていくということなので、市と協議会は連携し活性化に取り組んでもらいたい。県としても全庁体制で支援用意がある。
- ・意見書の内容は良いと思われる、市からどのような回答が寄せられるか注目したい。

以上で臨時総会は終了、加藤会長が閉会を宣言した。

以上